



沢池小だより

令和3年度 4月号
No.1 (R3年(2021年)4.7)
[発行] 明石市立沢池小学校

令和3年度の始まりにあたって

校長 福本 悟

お子様のご入学、進級、誠におめでとうございます。

新1年生148名を迎え、全校生800名で2021年度(令和3年度)が始まりました。新年度が始まってまもなく、世界的なコロナ禍は依然として社会生活や学校教育活動に大きな影響を与えていますが、子どもたちが安心して活動ができるような学校になれるよう、しっかりと頑張りたいと思います。

さて、私は4月1日付人事異動により沢池小学校長として着任いたしました^{ふくもと}福本 ^{さとる}悟と申します。子どもたちが伸び伸びと元気に活動し、個々の個性や能力を伸ばせることを目指して努力してまいりたいと思います。どうぞよろしく願い申し上げます。

〇令和3年度の学校教育目標と学校経営方針について

《学校教育目標》 「豊かな心をもち たくましく生きる子どもの育成」

これまでの学校教育目標を継承してまいります。今、子どもたちも世の中も、長引くコロナ禍にあって先が見えず、「不安」にさらされながら日々過ごすことを余儀なくされています。

こうした困難な状況下にあっては、未来に向かって生きる子どもたちにとっては、新しい環境に順応できるたくましさ、正確な情報を収集し冷静に判断できる力などが、とりわけ必要となります。併せて、「ほんの小さな出来事」に感動したり、喜んだりできる感性、すなわち、しなやかで優しく豊かな心、つまり学校教育目標が謳う「豊かな心をもつ」ことも大切な力の一つです。

本校の校章の由来の一説に、『困難な条件にも打ち勝ち繁茂する水草の代表「オモダカ」を配し、強くたくましく未来に向かっていく人間の育成を目指している』とあります。先人が今の時代を見通していたかのような校章を考えて設定されたことも、本校教育目標を継続していきたいと考えた理由の一つです。



オモダカの葉

人は様々な背景の中で生活し、多様な考えや思いを持っています。そんな自分とは違う考えこそを尊重し、大切にすることが、未知の事態に対する解決の糸口につながっていくものと思います。

学校では日々の様々な学習活動を通じて、仲間と協働しながら、小さな課題を解決する経験を重ねられるよう計画し、実践してまいりたいと考えています。現行学習指導要領の言う「主体的、対話的で深い学び」の実践です。

未来を生きる子どもたちの健やかな成長のため、力を合わせて頑張りたいと思いますので、何卒、ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。